

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立瑞穂農芸学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長（事務局長）、主任教諭（教務主任） 計2名
- (3) 内部委員の構成
経営企画室長、主任教諭（教務主任、生活指導主任、進路指導主任） 計4名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
保護者代表（2名）、同窓会長、近隣中学校長、近隣小学校長 計5名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年6月9日（木）内部委員4名、協議委員5名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
令和3年度学校経営報告並びに令和4年度学校経営計画について
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和4年11月25日（金）内部委員4名、協議委員5名
これまでの教育活動に関する報告
「学校生活のしくみときまり」について協議
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
学校評価アンケート案の検討
 - 第3回 令和5年2月10日（金）内部委員4名、協議委員5名（大雪警報発令のため
書面開催）
令和4年度学校経営報告について
これまでの教育活動に関する報告
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
未実施

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・1月 全校生徒 対象：56人 回収：43人 回収率：77%
 - ・1月 保護者全員 対象：56人 回収：2人 回収率：4%
 - ・1月 教職員 対象：11人 回収：8人 回収率：73%
- (3) 主な評価項目
学校生活、学習指導、進路指導、経営企画室、施設設備、給食、読書状況、ライフ・ワーク・バランス、感染症対策について
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・学校生活については、生徒は86.2%、保護者は90.0%の満足度を得ている。
 - ・授業については、生徒は86.0%、保護者は78.6%の満足度を得ている。特に少人数の授業や実技・実習科目での満足度がおおむね高い傾向である。

- ・進路指導については、生徒は82.6%、保護者は75.0%の満足度を得ている。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
- ・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等について更に説明を行うことが大切である。
 - ・保護者からの進路指導への満足度が低い傾向が見られた。
 - ・総合的に生徒・保護者の満足度に比して、教員の達成満足度が低く教員側の自己肯定感に課題がある。
- 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）
- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業改善に向けた校内研修の実施、充実が引き続き必要であると認識できた。
 - ・生徒の資質や言語能力や学力が進路指導にも現れるため、基礎学力の定着を図り、学習指導を工夫し、生徒それぞれの課題を克服し進路を切り開けるよう指導していく必要がある。個別の対応が今後も求められている。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった
- ・開催方法について課題が残った。
- 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）
- (1) 学校運営
- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
 - ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
 - ・学期ごとに校内研修会を実施する。
- (2) 学習指導
- ・小中学校や地域との連携について、方法も含めできることを模索し、瑞穂農芸高校として生徒を育てるグランドデザインを深めていく。
- (3) 特別活動
- ・感染症対策に留意しながら、生徒会活動の活性化を図り、生徒間の協調性を養う。
- (4) 生活指導
- ・教員の指導力を高め生徒一人一人に寄り添い、引き続きいじめや体罰のない学校を目指す。
- (5) 進路指導
- ・進路指導部の組織的運営を目指し、書類等については複数での確認と、進学・就職両方に対応した「進路の手引き」を発行するとともに、入学から卒業まで計画的にキャリア教育の充実を図る。
- (6) 健康・安全
- ・自転車通学指導、バイク交通安全指導を行い、交通事故をなくす。
- 6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果
- 【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回
- 7 その他
- ・保護者のWEB等を使用したアンケート回収率を更に高めるため、周知や操作方法の説明が必要である。